

Q デイサービスの変更は

沖元 大洋 議員

A 総合的な介護予防へ

市長

Q 旧大柿町で3月末まで取り組んでいた生きたデイサービスをなぜ中止にしたのか。現サービスの方法では、年寄りも職員も日々の生活を危惧しております。サービスの方法を元に戻してもらえないか。

A 制度改正により18年度から介護予防事業が実施される。本市も従来の通所支援事業の成果を踏まえつつ「総合的な介護予防システム」の確立を目指す。従来の生きた活動支援事業は、社会福祉協議会委託事業の「いきいきサロン」等に

転換し、支援していく。
Q 新市職員の給与査定に、旧町時のラスパイレスを旧4町出身職員に当時のまま支給しているのはなぜか。江田島町96.3%、能美町95.0%、沖美町95.7%、大柿町95.9%です。新市のラスパイレスを策定して、職員給与の不

公平格差の是正を。
A ラスパイレス指数の算出は、4月1日現在の給与をもとに、毎年12月に公表されるので、市としての最初のラスパイレス指数の結果はまだ出ていない。



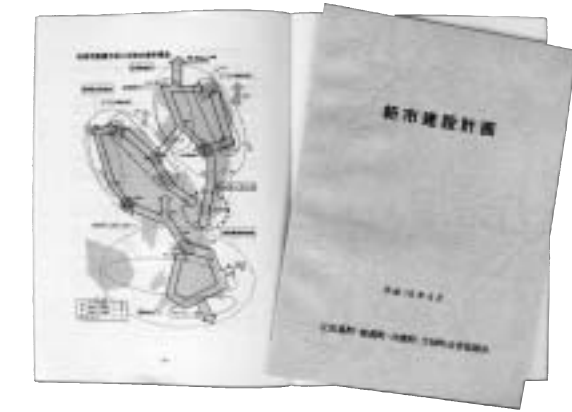
▲地域福祉サービスを提供する大柿老人福祉センター

Q 『センターゾーン』って？

山田 尚眞 議員

A 新市の中心となる地域

市長



▲新市建設計画書

Q 合併住民説明会の資料、その他都市づくり構想等の資料に「江南・飛渡瀬」地区を市のセンターゾーンと明記している。今後、このゾーンでの新市建設計画による都市づくり構想などはあるか。

A 「江田島湾総合開発構想」に、江田島湾奥部地域は人口の配置状況や島内全域のネットワーク時間の状況からセンターゾーンと位置付けている。今後、策定をする長期総合計画において検討する。

Q 資料によると、センターゾーンとは「新市の一体化のため、住民生活にかかわる各種サービス機能の強化を行うとともに、新市の中心的役割を担う地域として整備を図ります」とある。やはり、「市のまつり」と

は、このセンターゾーンでつかさどるのが約束では。
A 周辺が活力ある地域になることにより、中心が栄えてくる。各種行事においても、周辺の地域に役割を持たせてやられている。

Q 港湾整備を早く

大石 秀昭 議員

A 県の事業で早急に完成を

市長

Q 江田島市の表玄関でもある中田港の埋め立て工事は、今後どのような計画で進み、完成はいつなのか。利用者が非常に不便を感じている。平成19年度から平成20年度完成予定で

が、早く利用できるように関係官庁とも協議しながら進めていく。
Q イノシシ対策は、現在箱罠等の対策をしているが、イノシシの方が人間より偉く畏に入らない。

今、市が計画中の放牧制度について場所と時期を説明してください。
A イノシシ対策の放牧制度ですが、今年度7月ごろ大柿町の八王寺地区をモデル事業で実施しようと思っている。で

きることであれば一町歩以上の荒廢地を対象にしたいと考えている。



▲埋め立て整備が進む中田港

Q 救急高速艇の早期配備を

鎌田 哲彰 議員

A 消防防災へりの有効活用を

市長



▲市民が参加しての救急応急処置訓練（江田島町中央地区）

Q 救急車では間に合わない急患のために、ぜひとも救急高速艇の早期配備を。
A 救急搬送の時間短縮は必要であり、当面は消防防災へりの有効活用を考える。今後はあらゆる手段や可能性を調整

検討したい。
Q 公民館講座が廃止されると聞くと本当か。
A 全部廃止をするのではない。教養講座を中心とした定期講座については、受講者が特定化する傾向にあるため、ある程度確立できた講座は

自主自立をお願いする。
Q 岩国商工会議所が、NLP誘致を発表したが、一昨年の当時の計画内容で、いろいろな保障的条件の提示があったことを元沖美町長から確認したが、国へ再確認する必要はないのか。

A 基本は地域住民の安心確保が最優先である。誘致には反対である。地域の活性化は他の面で住民にプラスになることを模索したい。

Q デイサービスの変更は

沖元 大洋 議員

A 総合的な介護予防へ

市長

Q 旧大柿町で3月末まで取り組んでいた生きたデイサービスをなぜ中止にしたのか。現サービスの方法では、年寄りも職員も日々の生活を危惧しております。サービスの方法を元に戻してもらえないか。

A 制度改正により18年度から介護予防事業が実施される。本市も従来の通所支援事業の成果を踏まえつつ「総合的な介護予防システム」の確立を目指す。従来の生きた活動支援事業は、社会福祉協議会委託事業の「いきいきサロン」等に

転換し、支援していく。
Q 新市職員の給与査定に、旧町時のラスパイレスを旧4町出身職員に当時のまま支給しているのはなぜか。江田島町96.3%、能美町95.0%、沖美町95.7%、大柿町95.9%です。新市のラスパイレスを策定して、職員給与の不

公平格差の是正を。
A ラスパイレス指数の算出は、4月1日現在の給与をもとに、毎年12月に公表されるので、市としての最初のラスパイレス指数の結果はまだ出ていない。



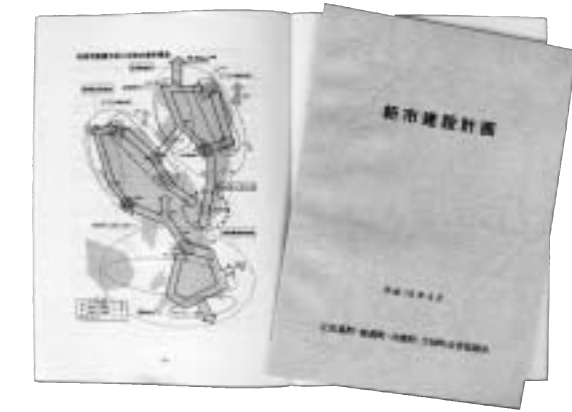
▲地域福祉サービスを提供する大柿老人福祉センター

Q 『センターゾーン』って？

山田 尚眞 議員

A 新市の中心となる地域

市長



▲新市建設計画書

Q 合併住民説明会の資料、その他都市づくり構想等の資料に「江南・飛渡瀬」地区を市のセンターゾーンと明記している。今後、このゾーンでの新市建設計画による都市づくり構想などはあるか。

A 「江田島湾総合開発構想」に、江田島湾奥部地域は人口の配置状況や島内全域のネットワーク時間の状況からセンターゾーンと位置付けている。今後、策定をする長期総合計画において検討する。

Q 資料によると、センターゾーンとは「新市の一体化のため、住民生活にかかわる各種サービス機能の強化を行うとともに、新市の中心的役割を担う地域として整備を図ります」とある。やはり、「市のまつり」と

は、このセンターゾーンでつかさどるのが約束では。
A 周辺が活力ある地域になることにより、中心が栄えてくる。各種行事においても、周辺の地域に役割を持たせてやられている。

Q 港湾整備を早く

大石 秀昭 議員

A 県の事業で早急に完成を

市長

Q 江田島市の表玄関でもある中田港の埋め立て工事は、今後どのような計画で進み、完成はいつなのか。利用者が非常に不便を感じている。平成19年度から平成20年度完成予定で

が、早く利用できるように関係官庁とも協議しながら進めていく。
Q イノシシ対策は、現在箱罠等の対策をしているが、イノシシの方が人間より偉く畏に入らない。

今、市が計画中の放牧制度について場所と時期を説明してください。
A イノシシ対策の放牧制度ですが、今年度7月ごろ大柿町の八王寺地区をモデル事業で実施しようと思っている。で

きることであれば一町歩以上の荒廢地を対象にしたいと考えている。



▲埋め立て整備が進む中田港

Q 救急高速艇の早期配備を

鎌田 哲彰 議員

A 消防防災へりの有効活用を

市長



▲市民が参加しての救急応急処置訓練（江田島町中央地区）

Q 救急車では間に合わない急患のために、ぜひとも救急高速艇の早期配備を。
A 救急搬送の時間短縮は必要であり、当面は消防防災へりの有効活用を考える。今後はあらゆる手段や可能性を調整

検討したい。
Q 公民館講座が廃止されると聞くと本当か。
A 全部廃止をするのではない。教養講座を中心とした定期講座については、受講者が特定化する傾向にあるため、ある程度確立できた講座は

自主自立をお願いする。
Q 岩国商工会議所が、NLP誘致を発表したが、一昨年の当時の計画内容で、いろいろな保障的条件の提示があったことを元沖美町長から確認したが、国へ再確認する必要はないのか。

A 基本は地域住民の安心確保が最優先である。誘致には反対である。地域の活性化は他の面で住民にプラスになることを模索したい。